

陸軍

被調査者 第二十八師團參謀

陸軍中佐 杉本和郎

一、部隊名 第二十八師團

二、部隊履歴ノ概要

昭和十五年八月 滿洲ニ於テ編成

昭和十九年七月 南方方面求動下令

七一八月間 主力ヲ以テ宮古島一部(36)ヲ以テ

大東島守備ニ任ス

昭和二十年十月ヨリ復員ノ爲 輸送開始

三、部隊長名 陸軍中將 納見敏郎

昭和二十年十二月十三日病歿

四、指揮隷屬關係及其ノ変遷ノ概要

在滿間 關東軍 第五方面軍

昭和十九年二月 第三方面軍

0835

南方轉移後

昭和十九年八月

第三十二軍

昭和二十年六月

第十方面軍

三、参加セル主要ナル作戦ノ概要

一、台湾沖海空戦

主トシテ空戦ニ飛行場勤務ヲ以テ協同

ス沖繩作戦

作戦間連日激烈ナル敵機ノ空爆並ニ戰鬥艦ニ隻ヲ主ト

スル艦隊(一回)ノ攻撃ニ對抗シツ、宮古島及台湾方面ヨ

リ出動スル航空部隊ニ決死的策撃ニ協同ス

三、死傷 詳カナラサルモ數百ニ達スルヤ否

四、損耗 昭和二十年一月ニ於テ宮古島部隊ノミテ師團長

納見中將以下二千名ヲ越ス

五、給養 南西諸島進駐以來物資ノ補給十分ナラスシテ

頗ル粗悪ナリシモ自活ノ促進ニヨリ終戦前後ヨ

0836

リ頻シク好轉シ復員ニ際シ相當量ノ糧秣ヲ
米軍ニ手交スルニ至ルハシ

6. 衛生

大東島ヲ除キ「マラリヤ」獨歛地帯ニ作戦準備ヲ
遂行セルヲ以テ多数ノ「マラリヤ」患者ヲ發生セリ

其ノ他「デング」熱傳染病等ノ流行地ナリシヲ以テ
一般ノ衛生成績ハ頗ル不良ナリ

特ニ配屬独立混成第四十五旅團ハ石垣島ニ於テ兵
力(約七〇〇〇)ノ殆ント全部ヲ「マラリヤ」ニ罹患セ

シメタリ

(本項ハ更ニ調査ノ上第一復員者ニ報告ス)

一其ノ他部隊ノ經歷中特異ト認メラルル事項

ノ沖繩ニ於ケル米軍根據地司令官ハ十二月十五日宮古島ニ於ケル日本軍(引卒下士官ノ外全員矣)ハ八〇名ヲ沖繩本島ニ移駐セシメルコトヲ要求シ米軍軍医ノ身体検査ヲ受ケシメ十二月下旬ヨリ一月九日迄ニ六四七四名及病院一個將校三名下士官一〇名)ヲ沖繩本島ニ移動セシメタリ
要求ニ滿タサル分ハ既ニ半数ノ復員ヲ終了セル後ナルヲ以テ強テ要求セス

ス南西諸島方面ノ歸還ニ際シテハ將校ハ總テ米軍ノ許可ヲ要セリ

十二月十九日歸國不許可將校歩兵第三聯隊長怡土軍大佐以下三百五十名海軍十五名ヲ師團及師團指揮下部隊ヨリ選抜何處ニカ行先ヲ示サス拉致セリ

